

UR RENAISSANCE IN

洋光台

第2回アドバイザー会議

平成24年12月3日（月）

午後2時～午後4時（午後1時30分開場）

於：ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」

PROGRAM

- 14:00 ● 開会挨拶
独立行政法人都市再生機構
理事長 上西郁夫
- 14:10 ● 洋光台プロジェクト概要
- 14:20 ● アドバイザーの視点
大月敏雄氏
東京大学大学院建築学専攻准教授
信時正人氏
横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事
上野千鶴子氏
社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・
NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長・
日本学術会議会員
佐藤可士和氏
クリエイティブディレクター
- 15:00 ● URのこれからの取り組み
- 15:15 ● 隈研吾氏からの提言
建築家・東京大学大学院教授
- 15:30 ● 意見交換
- 15:55 ● まとめ
- 16:00 ● 閉会

主催 独立行政法人都市再生機構神奈川地域支社



UR RENAISSANCE in 洋光台 ADVISER'S PROFILE

(座長) 隈研吾 氏 (建築家・東京大学大学院教授)



- 東京大学建築学科大学院修了。2009年より東京大学大学院教授。
- 1997年「森舞台／登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞。2002年「那珂川町馬頭広重美術館」はじめとする木の建築でフィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー国際木の建築賞受賞。
- 近作にサントリー美術館、根津美術館。
- 近年のコンペ受賞作として、2008年グラナダ・パフォーミングアーツ・センター（スペイン、2013年竣工予定）など、国内・国際的に活躍。
- 著書『新・建築入門』『負ける建築』『新・ムラ論東京』など。
- 都市再生機構の東雲3街区において、光と風が入り込む爽やかなアトリウムが都市生活に潤いをもたらす空間づくりの設計に携わっている。

上野千鶴子 氏 (社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授 ・NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長・日本学術会議会員)



- 京都大学大学院社会学博士課程修了。1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。2011年4月から東京大学名誉教授、NPO法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長。
- 専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。近年は高齢者の介護問題に関わっている。女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践により、2011年度朝日賞受賞。
- 著書『近代家族の成立と終焉』（岩波書店）でサントリー学芸賞を受賞。
- その他『家族を容れるハコ 家族を超えるハコ』（平凡社）、『おひとりさまの老後』（法研）、『ケアの社会学』（太田出版）など著書多数。最新刊に『現代思想 総特集 上野千鶴子』（青土社）。

大月敏雄 氏 (東京大学大学院建築学専攻准教授)



- 東京大学大学院工学系研究科修了。2008年より東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授。
- 専門は建築計画・住宅計画・住宅地計画。
- 著書『集合住宅の時間』『奇跡の団地 阿佐ヶ谷住宅』など。
- 東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG) の運営委員。
- 東京大学、柏市、URの連携による長寿社会のまちづくり（豊四季台団地）。
- 東日本大震災に対応してコミュニティケア型仮設住宅の遠野市仮設住宅 希望の郷「絆」の設計。

佐藤可士和 氏 (クリエイティブディレクター)



- 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。株式会社博報堂を経て2000年独立。同年クリエイティブスタジオ「サムライ」設立。2008年より多摩美術大学客員教授、2012年より慶応義塾大学環境情報学部特別招聘教授、東京ADC理事、JAGDA運営委員。
- 主な仕事に、国立新美術館のシンボルマークデザインとサイン計画、ユニクロ、楽天グループ、セブンイレブンなどのブランディング等。近年は、JAPAN国際コンテンツフェスティバルや今治タオルのクリエイティブディレクションなど、日本の優れたコンテンツをグローバルに発信していくことに力を注いでいる。
- 著書『佐藤可士和の超整理術』『佐藤可士和のクリエイティブシンキング』など。

信時正人 氏 (横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事)



- 東京大学都市工学科修了。三菱商事勤務を経て、(財)2005年日本国際博覧会協会（政府出展企画・催事室長等）、東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授（柏国際キャンパス）、横浜市温暖化対策統括本部長を経て、2012年4月より現職。
- 2007年環境省カーボンオフセットのあり方検討会委員等、アーバンデザインセンター横浜コーディネーターや少年野球コーチ等市民との活動にも積極的に参加。私的には、アーバンデザインセンター横浜コーディネーターとしてエコ戦略を産官学民のグループで研究・提言。

広井良典 氏 (千葉大学法経学部総合政策学科教授)



- 東京大学大学院総合文化研究科（相関社会科学専攻）修士課程修了。厚生省勤務を経て96年より千葉大学法経学部助教授、2003年より同教授。この間マサチューセッツ工科大学 (MIT) 客員研究員。
- 社会保障や環境、医療、都市・地域に関する政策研究から、時間、ケア等をめぐる哲学的考察まで、幅広い活動を行なっている。
- 著書『コミュニティを問いなおす』で第9回大佛次郎論壇賞を受賞。その他『ケアを問いなおす』『死生観を問いなおす』『持続可能な福祉社会』『日本の社会保障』『グローバル定常型社会』『生命の政治学』など。